旅館・ホテルの「設備」特集

旅館やホテルのリニューアルラッシュが続いている。増加するインバウンド旅行者への対応や、バリアフリーの推進など、その目的はさまざまだ。リニューアルの内容も、全館建て直し、耐震補強、一部リニューアル、設備入れ替えなどさまざまで、小規模のリニューアルでは、ロビー周り、客室の改装などが数多く実施されている。水回りの老朽化や、隣室、上階の騒音はクレームにつながることも多く、早期に改修しておきたい設備の代表格だ。今回の特集では、「施設の設備」に焦点を当てて、最新の商品を紹介する。

喫煙ブース

Fujitaka

美しいデザイン

社会の分煙化傾向が年々進む中、Fujitaka（フジタカコーポレーション、京都市）は、充実した機能だけではなく、周囲の環境に合ったデザインを兼ね備えた最新の喫煙ブース「SMOKE POINT（スモークポイント）」を提案している。

かつての喫煙ブースは、禁煙と喫煙の空間を分離することに重点を置いた。そのためデザインが建物の雰囲気に合わず管理者が導入を見送ったり、煙が漏れ出すなど性能が低かったりするものも一部で見られた。

スモークポイントは、デンマーク生まれのスタイリッシュなデザイン。周囲を開放感ある透明ガラスで囲み、美しいインテリア空間を生み出す。また、国の脱煙機能付き喫煙ブースの基準である「TVOC（総揮発性有機化合物）の除去率95%以上」「非喫煙場所から喫煙場所への気流が毎秒0・2㍍以上」「排気粉塵量が1立方㍍当たり0・015㍉㌘以下」の基準をクリアしている。

さらに、大容量の吸い殻入れ設置や静音・省エネ設計など性能も高い。移設も簡単にできる。また、清掃・メンテナンス制度もあり、導入施設はこの制度を利用し、いつでも快適な分煙環境を維持できる。スモークポイントの中で紫煙をくゆらす喫煙者と、すぐ外にいる非喫煙者が、近くにいながら互いに嫌な思いをせずにコミュニケーションをとることが可能だ。

ラインアップは、「セミオープン」タイプ、「ドア」タイプに加え、小型の「キューブ」タイプの3種。組み合わせて大人数が利用できるようにカスタマイズにも対応できる。キューブは、約0・5坪の狭小スペースにも設置が可能。1～2人対応の喫煙ブースで、ブース内からたばこの煙の流出を防ぐため、スライドドアを標準装備した。

スモークポイントの設置例

赤さび防止・配管更正装置

日本システム企画

宿泊施設など4100棟が導入

日本システム企画（東京都渋谷区）の「NMRパイプテクター」はホテル・旅館の空調冷温水管、給水管の赤さび劣化を防止し、延命する画期的製品。英国では、バッキンガム宮殿、国会議事堂、大英博物館に設置されているほか、マリオットホテル、マンダリン・オリエンタル・ハイドパーク・ロンドンといった5つ星ホテルでも採用されている。

ホテルサーブ渋谷

同製品の原理は、NMR共鳴エネルギーにより、水分子間に発生したマイナス電子が赤さびを黒さびに変え、赤水を解消し、配管を保護、延命するというもの。

国内外の導入実績は、宿泊施設に加えて、病院、マンション、学校、工場など4100棟以上。ホテルサーブ渋谷、ホテル椿山荘東京、函館湯の川温泉・湯元啄木亭もユーザーだ。

ホテルサーブ渋谷（運営会社・サーブホテルズ）では、18年の夏に空調冷温水系統（循環水）に同製品を設置した。同社の八木豊社長は採用の経緯について次のように語る。「配管の寿命が来ていたが、全交換するためには、約1年かけて各フロアを順次工事する必要があり、費用も1億円以上かかる。それに対し、NMRパイプテクターの設置工事は熱源設備の根本のパイプに外付けするだけで済んだ。しかも費用は全交換の場合の16分の1だった」「最初は半信半疑だったが、『1年後に効果が認められなかったら全額返金しても良い』とまで言われ、設置をお願いした」

結果については、「満足している。同社独自の特許技術による製品で、実際に効果があった。当ホテルでは空調冷温水系統に設置したが、ホテル・旅館では、給湯・ボイラー系統、給水系統の配管にも効果的だと思う」と話している。

平成30年　神奈川県入込観光客調査

延べ客数2億26万人 前年比0.2%減少

神奈川県観光振興対策協議会発表

神奈川県観光振興対策協議会の発表によると、平成30年（1～12月）に同県を訪れた観光客の推計延べ人数は2億26万人で、前年（2億69万人）に比べ0・2%減少した。このうち日帰り観光客は1億8235万人で、同0・9%減少。宿泊観光客は1791万人で、同7・6%増加し、過去最高を更新した。

延べ観光客数は横浜博覧会が開催された平成元年の1億6065万人をピークに減少傾向を示し、同10年には1億4千万人台前半まで減少した。

しかし、その後増加傾向を示し、同21年には開港博Y150に伴う集客効果などにより過去最高の1億8357万人を記録したものの、同23年には東日本大震災の影響を受けて1億5197万人まで減少した。

同25年以降は増加傾向にあり、同29年は初めて2億人を突破し、過去最高記録を更新するとともに、神奈川県観光振興計画に掲げた同30年の目標値2億人を前倒しで達成した。

宿泊客過去最高の1791万人
日帰り客は前年比微減に

●日帰り客数

平成元年の1億4894万人をピークに減少傾向を示し、同10年に1億1791万人で、前年に比べ126万人の増加（7・6%増）となり、過去最高を更新した。

宿泊客数は同3年の1292万人をピークに減少傾向を示し、同11年には1100万人台となったが、同12年以降は回復傾向で推移し、同18年には1300万人台に達した。

同23年は東日本大震災の影響で大きく減少したが、同24年以降は毎年最高記録を更新している。

◇　◇

【地域別に見た観光客の状況】

●横浜・川崎地域

延べ観光客数は6748万人で、前年比5・5%減。

横浜市内で開催されたイベントの規模が縮小。地域全体の日帰り客数が減少した。宿泊者数は新たな施設のオープンなどで増加した。

●三浦半島地域

延べ観光客数は1675万人で、同3・5%増。

「県立近代美術館葉山館」の企画展が好調。夏の天候にも恵まれ、三浦海岸、逗子海岸などの客数が増加した。

●湘南地域

延べ観光客数は5241万人で、同2・7%増。

前年の台風被害による減少からの回復や、夏場の天候に恵まれたことで湘南海岸・江の島、鎌倉海岸、大磯海岸で客数が増加した。猛暑の影響で鎌倉市内の社寺を訪ねる観光客は減少した。

●箱根・湯河原地域

延べ観光客数は3353万人で、同0・3%増。

小田原市でイベント事業が好調、宿泊施設のオープンもあり客数が増加した。箱根町は夏の猛暑の影響を大きく受け、客数が減少した。

●丹沢・大山地域

延べ観光客数は1625万人で、同16・3%増。

「未病バレー『ビオトピア』」がオープンした大井町で客数が25万人増加。道の駅「清川」が積極的な情報発信を行い、清川村周辺の客数も82万人増加した。

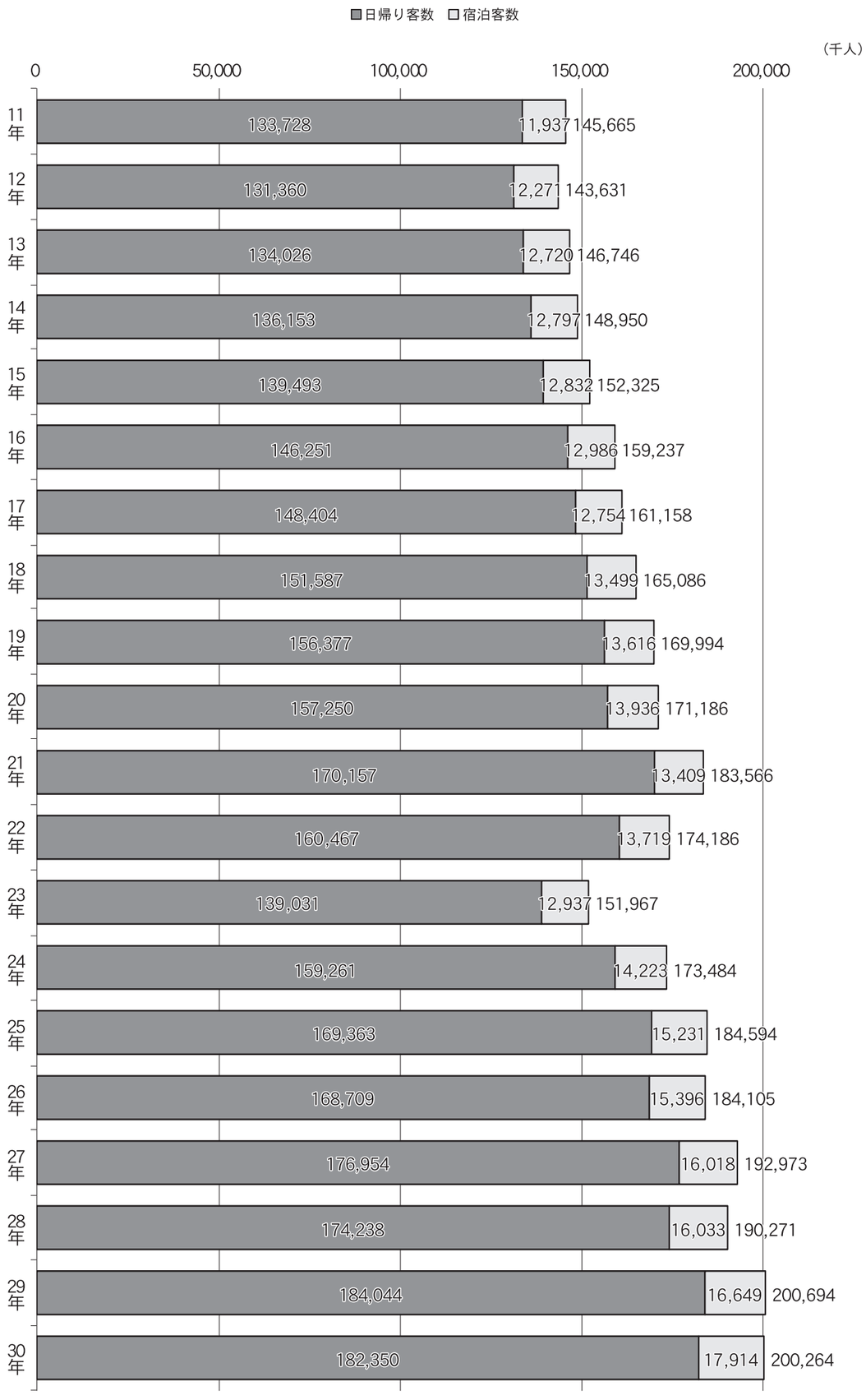
●相模湖・相模川流域

延べ観光客数は1385万人で、同5・6%減。

相模原市で前年悪天候のため中止した「相模原よさこいRANBU！」が2年ぶりに開催。ただ、天候不順の影響で「相模原納涼花火大会」が中止となった。

調査データ

平成11年～平成30年の日帰り客・宿泊客数別グラフ



ビジネス番組「企業魂」にて報道されました!!　WEBサイトにて動画も公開中!

ホテルの空調冷温水管・給水管を NMRパイプテクター®

40年以上※1 延命!!※2

費用は配管更新の 1/10～1/20

英国5つ星ホテル多数採用例
・ボーンマウス ハイクリフ マリオット ホテル
・マンダリン オリエンタル ハイドパーク ロンドン
・ロイヤルガーデンホテル

国内外導入実績 4,100棟以上
・ホテルサーブ渋谷
・ホテル椿山荘 東京
・函館湯の川 啄木亭
※2019年8月現在

大幅にコスト削減 断水不要

※1【実例】築35年の大手DPE工場配管の外側から装着、赤錆を黒錆に変えて、設置後14年経過した後でも防錆効果が持続、配管を49年間延命しています。(詳しくは当社ホームページ参照)
※2 配管130mm以上の直管部が必要、配管内1℃～100℃、1日当りの水の使用量が200ℓ以上が条件。

導入実施例
マリオットホテル/ボーンマウスハイクリフ（設置日2006年9月27日）

マリオットホテルは世界中で展開する高級ホテルで、計6,700余りのホテルを保有しており世界最大の規模を誇ります。ボーンマウスハイクリフはマリオットホテルグループ内でも上位のホテルです。
※ 英国水道法水質基準値：0.2mg/㍑

物件概要	
設置時築年数	築128年
設置配管・設置数	給水系統1セット、給湯系統2セット

検査時期	赤錆による水中の鉄分値	
	給水	給湯
設置前（2006年9月27日）	3.46mg/㍑	6.00mg/㍑
設置13日後（2006年10月10日）	0.007mg/㍑	0.007mg/㍑

0120-320-390
国交省新技術活用システム（NETIS）登録実績有

JSP 日本システム企画株式会社
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-21-12
http://www.jspkk.co.jp　jspkk 検索